

発行所
津 奈 木 公 民 館
芦 北 郡 津 奈 木 町
電 話 (78) 3111代
印刷所 旭 印 刷
電 話 (水 俣) 4101 番

津 奈 木



ふれあい祭り 展示部門

侯病問題の大きな課題でありました患者救済に一応の決着がつき、解決の方向に向っております。残るこれからの最大課題は水俣市北地域の地域振興という事でありま。今年がその新たな地域振興元年と思っております。四十年に亘る苦しみの中、「心の復権」を目指して、文化を行政の柱に据えて町づくりに邁進してきましたのも、こうした考えに基づくものであります。町民の皆様が自分の町に、自信と誇りを持っていただくことが、町の発展につながる一番の力と信じています。

津奈木町長 西川 裕

「わが町に自信と誇りを!!」

新年のごあいさつ

新年のお慶びを申し上げます。昨秋には、三年ぶりの総選挙が新制度の下で行われ、新しい政治の枠組が決まりました。日本の政治・経済・社会状況等が、やや明るい方向に向かい、落ち着きを取り戻したように思われます。津奈木町に目を転じますと、四十年來の水



西川町長

しています。

昨年の四月、浜田知明先生・宮崎静夫先生他のご協力により、津奈木町収蔵の境野一之展を、県立美術館で開催することが出来ました。約千人の人達が入場いただき、県内の多くの方々に大きな反響を呼ぶと共に、町の宣伝にも大いに力があったと思います。又、恒例の秋のふれあい祭りの折には、県立美術館収蔵の著名作家の作品展も併せて開催することが出来ました。このふれあい祭りも、各種団体や文化協会の皆様のご協力により、年々充実し、町民の溢れるばかりのパワーを感じます。皆様の自主

県立美術館巡回展

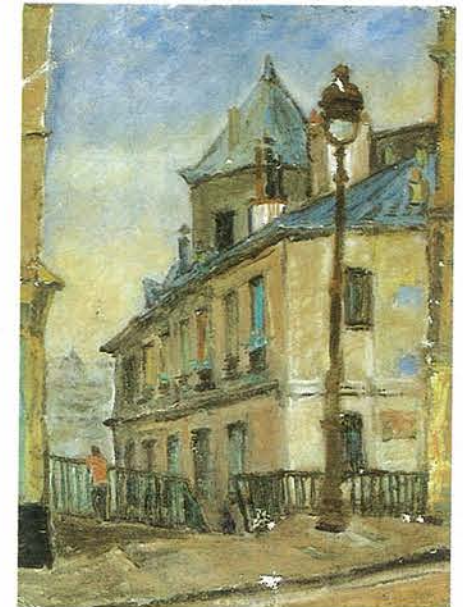
(生活の中に根ざしてきた)



八年ぶりの熊本県立美術館巡回展が昨年十一月五日(火)から十日(日)まで開催されました。これは、県立美術館がなかなか鑑賞の機会がもてない、熊本市から離れた地域の方々にも、美術館コレクションの一部を鑑賞していただくために、ひいては地域の文化向上に役にあたればと言うことで、県立美術館が自主企画事業の一環として開催するものです。皆さんごぞんじのとおり、津奈木町は「緑と彫刻による町づくり」



を推進しております。なお、今回の入館者は千人をこえました。町民の生活の中に「緑と彫刻による町づくり」が根ざしてきたのではないのでしょうか。



メニールモントン
境野一之 作

セルリアンブルーの町並みは、小高い丘の中腹にある。そこで眺める風景は、僕の一日の疲れを癒し、静寂の時を刻む。この町にはきっと、僕の体の細胞が溶けこんでいるのだろう。そして僕はこの町に、身を委ねる。

庁舎美術館 (69)

お知らせ

成人式御案内

(受付)

- 午前9時から10時まで
※受付は早めをお願いします。

(内容)

- 主催者、来賓等の祝辞
- 祝舞
- 成人者代表謝辞
- ふる里紹介(スライド)
- 成人者自己紹介
- 記念撮影等

※服装は普段着で参加して下さい。

親子「だごあげ」

参加者募集

●日時 平成9年1月19日

(日) 午前10時から
11時40分まで

●場所 津奈木総合グラウンド

(次の各賞を準備しております。)
高とび賞・大型賞
小型賞・ファミリー賞
アイディア賞・曲芸賞
地引賞等
お待ちしております

三太郎駅伝大会に応援下さい



(本町通過時刻予定)

総合グラウンド
新川橋
中学校前
千代番地
毎年恒例の三太郎駅伝大会が来る一月十二日(日)午前10時、水俣市役所前をスタート、湯ノ見海岸道路を抜け、三太郎峠を越え、田浦町改善センターのゴールを目指して力走します。
町民皆さんの絶大な応援をお願いします。なお、津奈木町代表選手は次のとおりです。

松永進・川野又男・川口香
林田祐一・福田 必・森山広行
倉野義彦・宮嶋弘行・諫山幸多
郎・藤原審二・田口伸二・平野
新市・斎藤拓巳・諫山吉光・前
田守康・篠原智和・長浜勝二・
竹本昌広(監督) 松永進(コ
ーチ) 鶴野賢二・新立 広
(中学生の部)
諫山準人・門崎照征・鶴野拓志
山口幸七・福田直也・森下明
新立麻衣子・福田大典・堀田知
映・岩崎 平・津々木秀俊・宮
島竜一・福山恵司・野崎孝祐・
上村大志(監督) 田原正和
※一月十二日スタート



十勝東部婦人との交流会

北海道・十勝東部四町婦人との交流

津奈木町連合婦人会との交流

北海道十勝東部四町女性リーダーの一行十五名を迎え、私共連合婦人会員十三名と西川町長、教育委員会の方々と交流会を開催することができました。広々とした、十勝平野で、一作物で十アール、二十アールは普通の人で沢山作る人は一ヘクタール、二ヘクタールと作りますよと簡単に云われる規模の大きさ、機械化された農業、私も収穫時に行つて、ホームステイをしてみたいと、遠い北海道に想いを寄せていました。

婦人会とお年寄りの交流会やボランティア活動、祝事や佛事の手伝い、女性消防団の活動等、非常に興味を持たれた様子でした。池田町でも、ボランティア活動として特養施設等からの要請で活動しておられ、浦幌町では、エスニック料理教室、中国・韓国から来ておられる花嫁、花婿さんを講師

十勝東部婦人との交流会

大変だと思いますが、これから津奈木町発展のため、子供から大人まで楽しめるコンサートを是非お願いします。



熊日学童オリンピック陸上競技大会優勝



小学生による指揮



熊日学童オリンピック陸上競技大会は、10月27日、熊本市水前寺競技場で実施されました。津奈木小学校4年篠原恵美さんは、4年200メートルの部でみごと優勝しました。タイムは32秒6です。なお、100mでは、5年鶴野剛士君は4位、6年大園剛君は6位でした。

シルバーファッション祭り

パワー爆発?

老年者が美しく、明るい、楽しい人生を送ろうということと女性会員が中心となって、去年十一月二〇日約四〇〇名余の会員が集まり文化センターで実施された。これはお互いの交流とふれあいの中で各地域間の友愛を深めるための催しで大きな成果があった。内容は地域ごとにアイデアにとんだファッションと共に寸劇、歌・踊りなどもとり入れ、初めてとしては好評のうちに終えた。高齢者でもやればできるということと共に、今後の励みになり楽しいひと時のファッションまつりであった。

来年度も実施され、更にみぎをかけ今後長く継続されることで皆んなの楽しい場となることを祈っている。



九州大会報告



シルバーファッションまつり



平成8年度九州ブロック社会教育研究大会

地域住民は地域での暮らしをよりどころとし、学習や活動をとおし、自らの目で確かめながら変わっていくことが大切ではないでしょうか。

(森山勝喜記)

大会テーマ「生涯学習の視点に立つ社会教育のあり方」とし九州各県より社会教育委員・社会教育行政職員・社会教育関係施設職員・他関係団体リーダー等、一〇三八名が集まり初日は、六分科会に分散し各会場では、各々事例発表のあと真剣な討議が行なわれました。第二日はアトラクションで始まり全体会のもと平敷治先生の記念講演で全日程を終わりましたが、沖縄県知事のご祝辞の中に、心の豊かさを求め生涯学習の必要性が広く認識される時代となっています。社会教育の果す役割は従来にも増して重要になっている。その充実進行が求められているところであり、社会教育の推進に尚一層奮起されることを期待する、とのご祝辞代読がありました。有意義な大会で、心に残ったお言葉でした。

芦北郡から参加した八名は、会場を後に那覇市小緑南公民館の研修へ行き公民館事業、補助事業など話を聞き設備、図書館の見学とよい研修となりました。

「註」小緑南公民館は那覇市に六つの公民館がありますがその中の一つです。

成人者名簿

地区	氏名	地区	氏名	地区	氏名	地区	氏名
竹中	齋藤 千絵	古川	山本 龍	倉谷	林 真智子	平国下	濱田 幸司
	廣田 美加		竹本 浩司		福山 佳代子		長濱 加奈
染竹	上原 拓也		濱本 幸三		山崎 寿子		村上 香奈子
	鶴野 智治		池田 真治		堀 加奈		長濱 こずえ
浜崎	新立 康晴		秋元 宏美	内野	山路 伸一郎		濱田 さつき
	大園 淳一	大泊	西 文彦		吉田 一幸		濱田 千晴
	大園 雅志		増田 隆史	上下門	門崎 竜二	日当	岩崎 幸平
	溝部 美加		柳 迫 一憲		平山 千代		岩崎 貴文
	吉本 幸恵		後藤 昇一	川内	下川 竜司		松田 智之
桜戸	澤田 臣也		古田(佐々木)千穂	福浦	福田 真由美		伊藤 恵
	永柄 貴光		真野 涼子		福田 美紀代		岩崎 覚美
	吉本 慎太郎		佐々木 厚美		福田 ゆかり		上村 真理
	宮島 時子		柳 迫 美千代	平国上	篠原 智和		開田 恵津子
町中	元村 誠二	中尾	野崎 ゆかり		長濱 智一	日添	林田 正伸
	塩山 智子	古中尾	汾陽 孝基		村上 恵美		吉野 太介
	村上 幸江		永里 宣久		長濱 由美		上村 彩子
	白濱 静		柿内 純子	平国下	鬼塚 健一		諫山 博子
新川	川崎 友之		農原 恵実		濱田 勇作	小津奈木	及川 貴弘
	西川 由美		山本 美樹		福山 照幸		鮫嶋 哲
古川	福脇 真吾	倉谷	堀田 慎一郎		村上 和臣		

◎成人おめでとう

より高い自己の理想に挑戦しよう!!



鶴野 智治

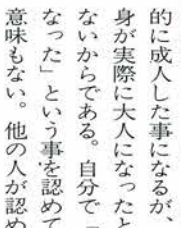
「成人」という言葉は、自分大きな自信と喜びを与えてくれた。しかし、それと共に責任という重くのし掛かるものも感じている。今までは自分の行動一つひとつが大事になる事に対し、大きな不安が募る。今日まで私は物事を深く問い詰める事を極力避けてきた様な気がする。楽に生きたい



竹本 浩司

私も、成人式を迎えることになったが、あまり嬉しくない。社会的に成人した事になるが、自分自身が実際に大人になったとは思えないからである。自分で「大人になった」という事を認めても何の意味もない。他の人が認めても同じ事だと私は考えている。

私は、「大人になる時」とは「夢が成就した時」だと思ふ。大人になり



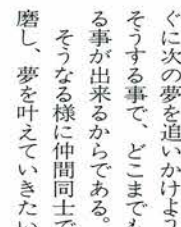
塩山 智子

私は、二十回目の誕生日を家族に祝福され、大人の仲間入りを何となく実感し、先の選挙では一票



伊藤 恵

私もとうとう成人を迎えること



私になった

私になった

私の決意

私になった

私の決意

十年前前に、ある書物に「八十五歳を過ぎて、ますます元氣、すばらしい人生」という見出しで、日々を生きていくと過しておられる、和服の似合う上品な老婦人の暮らしが、写真入りで紹介されていた。さまざまなインタビューの中で、「私は一日に十回の感動ができるよう、自分の生活の仕方を工夫しています」という、その方のコメントの箇所に、私は思わずアンダーラインを引いたことを今でも忘れない。

その後人様から学ぶ事も多い、さまざまな機会を生かし、自分なりに、にこやかな笑顔のあの方が言われたような「感動」の心の準備をしているつもりである

が、現実の生活の中では、一日に何回も、ぐちゃぐちゃでも十回の感動は凡人の私にはできない。

さて、改めて「感動」という文字の意味を辞書でさがしてみたいところ、(深くものに感心して心が動くこと)と記されていた。

「一日に五回の「感動」を」

石井 憲子

となれば、やはり普段から何事にも感心できる、やさしい、あたたかい、感性豊かな心の持ち主でないと、そう簡単に感動はみつからないのだろう。

そこで、現在の私の目標を「一日にせめて五回の感動を」という



(津奈木町在住)

こうして、心(魂)の中にできる限り多くの感動体験を積み込んで一生を終え、神様のもとに帰りたい。もともと楽観主義の私なので、すぐそんな甘いことを考えてしまう。年甲斐もなくと周りから批判されそうであるが、私は真剣に「あの方」に近づきたいのである。

さあ、今日も又一日が始まる。健康で活動できることに感謝しながら、車に「おはよう」と声をかけて、ハンドルをにぎる。

摘みて来しよも煮ながら浮び来る手織工場父糸染めていし

西滋子

(次笠) 高笑い 桃の花
一笠二句すつ二月十日まで
つなぎ文化センターへ

ここに、こんな人が……

踊りを楽しむ

山崎 桂子さん(55)

踊りを通して各方面で活躍の山崎さんは昭和五十八年に名取市生まれ、藤間伊登秀として活動されている現在も、月に六回師匠さんの元へおけいこに出かけられているとのことだが、教えて頂ける時間は十五分から二十分の短い時間だと聞き驚く。

家には踊り専用の部屋も作っており、月に



四回、伊登秀会のお弟子さんにおけいこを頂けられている。また、文化センターを会場に実施されている町民講座の一つである民謡教室では、講師として第一と三の水曜日に十五名のメンバーを相手に踊りを指導頂いている。二月の

町民講座発表会に向けて、おけいこに余念がないようだった。そしてもう一つ、毎年山崎さんに御足労をおかけするのが夏まじりの総踊りである。実行委員会から参加して頂き、曲の選定、踊りの練習と何ヶ所も出かけて頂いて夏まつり当日の総踊りにつながることを忘れないで欲しいと思う。

家庭でも、お店とお孫さんのお守りなどで日々忙しくお過ごしであるが、お孫さんが踊りを始められていたり、祖母としての楽しみも増えているようである。これからも、一層芸道に精進されることだろう。

(澤井記)

わが町の文化財・石造物(1)

せつだ越えの地蔵さん

縦75cm、横35cm
寄進、施主、松吉
蔵谷村、茂八、已八、弥右衛門源之助
安政三年辰九月
津奈木太郎峠近く、コンコンと湧く泉の側の路傍に、手に珠を持つ一基の地蔵さんが建立されている、町民の人々は親しく、敬愛をもつて、せつだ越えの地蔵さんという。

古来、地蔵さんは、村境、峠などに多く見受けられる。

短歌

宮崎 優選

十三夜月に綱編む新薬の香りもとに見等に手渡す

肥後狂句

宮崎 優

初詣で 去年は何ば願ごたつけ
久しぶり 鏡見てたまがるしわん
数 神無月



たまには地蔵さんにお参りに行ってほしいものです。

岡松莊一郎氏書参照 佐々木 緑

モデル公民館活動



上下門地区大会



大泊地区大会



ビーチバレー(ボウリング)を楽しみました

上下門地区 うんどう会賑う!!

平成八年度公民館活動モデル地区指定を受け、十一月二十四日(日)小春日和の中運動会が盛大に行われた。

当日は家族総出とあって年令も様々。身近な場所の日頃馴れ親しんでいる者同志、最初から和気藹藹と進められていった。種目も多種多様で一人何役をかつての奮闘振り。本々この地区はまとまりのある所で、事前の協力や、当日の運営もスムーズに進んだ。数十年前の陸上競技では敵なしの風格をまた思い浮べた一日でもあった。

「大変だった」の後の喜び、皆が感じとったのではないだろうか。日頃家から出る事の少ないお年寄とも接し地域の融和活性、楽しく暮らせる所としてまた願いたい。(川上)

あけぼの学習会 ◎社会探訪



楽しい料理実習

本年度あけぼの学習会社会探訪は津奈木地区を対象として実施されました。当日、参加者三十八名は早朝よりチツソ工場、水俣環境センター、そして水俣病資料館を見学しました。

今も水俣の主となるチツソ水俣工場では、係の方の説明とビデオの後、バスから工場内を一周して生産推移を知ることが出来ました。

環境センターでは、環境問題についての正しい理解と認識を深め、又それに優しい行動を推進してい



出来上がった喜び

トサラダを作りました。人数が少なかったため、一つひとつ愉快地お話ししながら楽しく作っていました。誰一人として手を遊ばせている人は居らず、それぞれ自分の持ち味を生かして上手に教えられた通り順序よく進み、皮むきから油いため等、次々に具を入れすばらしく美味なカレーの汁ができました。ヨーグルトサラダは、手先が仲々うまくいかなかったが出来上がりは立派なものでした。予定より早く出来たので、「老後もいろいろ」という替え歌の練習をして、城山先生のスバラシイ歌声を聞かせていただき楽しひひとときが過ぎました。



私は、この作品を読んで、自分が思ったこと、感じたこと、考えたことをありのままに書いた方がいいかなと思ったので、ストーリーについては何も書きません。だからこの本を読んだことがない人には、わかりづらいところがあるかもしれませんが、私が本気で思ったことを書きます。

読み終えた時には、しばらく涙がとまりませんでした。すごく感動して言葉に表せない気持ちでいっぱいでした。

私がこの作品で一番強く感じたことは、人間の優しさであったかきです。しかし、一つ思ったことは、本来ならば人間というのはこの作品にでてくる人物のような人が「本当のあたりまえの人間の姿」だったんじゃないかなということです。

オーバーな表現になるかもしれませんが、現代人は、何かに操られている道化師が感情がまるでない改造人間と同じようなものです。しかし、みんながみんなじゃないけれど、まだまだ人間らしい人達もたくさんいると思います。少なくとも

読書感想文

『太陽の子』を読んで

津奈木中2年 吉村 法子

私はもう決めていました。灰谷さんの本にでてくる人達のように優しい人間になろうと。傷ついた人、苦しめる人、苦しめられる人、苦しい人達、そんな小さな声にでも耳をかせる人になりたいと思います。そして灰谷さんの作品を読むたびそんな気持ちが強くなっていきます。私の生き方を決めてくれる本：それが、この灰谷さんの作品です。

話すがすくすくしてしまつたようですが、アドバースをもらっているような気分になり、いつの間にか元氣になっています。本物の先生とかには、そんなに心は開けないけれど、灰谷さんだったらそれができてすっきりします。私の空想中の話です。

話すがすくすくしてしまつたようですが、アドバースをもらっているような気分になり、いつの間にか元氣になっています。本物の先生とかには、そんなに心は開けないけれど、灰谷さんだったらそれができてすっきりします。私の空想中の話です。

とも私の周りにはそんな人がいます。そしてこの作品には、人間らしい人達があふれているのです。私は、勉強は、しようとしなからできない、運動神経まるでなし、だからといって人の役に立つ人かと思えるところでもないし、なんかやる気がない無力なダメ人間だと思ふことが時々あります。こんなこと思ふやいけなけれと思つてしまい、一人でわけもなく悲しい時、灰谷さんの本を読むと私と一緒に気持ちになつて話して聞いてもらい、いいアドバイスをもらっているような気分になり、いつの間にか元氣になっています。本物の先生とかには、そんなに心は開けないけれど、灰谷さんだったらそれができてすっきりします。私の空想中の話です。